

## ITが人と社会にできること

### INDEX

編集方針／報告書概要	01
社長メッセージ	02
スペシャル・メッセージ	03
株式会社百五銀行 代表取締役頭取 前田 肇 様 本業を通じた社会貢献こそ、CSRの原点。	
 <b>お客さまとともに</b>	07
 <b>社員・家族とともに</b>	19
 <b>地域・社会とともに</b>	25
 <b>地球環境のために</b>	29
日本ユニシスグループについて	33
CSRマネジメント	35
ステークホルダーからのメッセージ	39
用語解説／編集後記	41

#### ※「用語解説」について

本文中に登場する専門用語や略語は、必要に応じて「用語解説」で説明しています。

#### 表紙について

表紙の写真は、日本ユニシスグループの2008年度新入社員です。2008年4月、総勢291名のフレッシュマンが日本ユニシスグループの一員となりました。日本ユニシスグループはこれからも、未来を担う“若い力”が大きく成長し続けていけるような企業でありたいと願っています。



## 編集方針

私たち日本ユニシスグループは、『ITが人と社会にできること』をスローガンとして、CSR活動を推進してきました。その成果は2005年よりCSR報告書に記載し、日本ユニシスグループのステークホルダーのみならずにお知らせするとともに、いろいろなご意見を頂戴するためのコミュニケーション・ツールとして活用してまいりました。

2008年も、「読みやすい、わかりやすい、読んでみたい」を編集方針とし、多くのステークホルダーのみならず読んでいただける報告書を目指して編集しました。具体的には2007年までと同じく、データや文章の解析ソフトウェアである当社の「MiningPro21®(マイニングプロ21)」を使用し、より平易な文章の目安として、中学3年生の教科書で使用されている語句の使用率を80%以上とすることを目標としています。

また、今回の報告書には日本ユニシスグループの多くのお客さまに登場していただき、当社グループや当社グループ社員に対するご意見・ご要望をいただきました。そして、お客さまに満足・信頼していただくために、お客さまのご要望に対してどのように対応すべきかという観点から、当社グループ社員の声も併せて紹介させていただきました。

お客さまのご意見あるいは社員の声から、日本ユニシスグループの事業に対する取り組みや、めざしている方向などをご理解いただければ幸いです。

今後さまざまなステークホルダーのみならず信頼される企業となるべくCSR活動を推進してまいります。みなさまのご意見、ご要望などをお聞かせいただけますよう、お願い申し上げます。

## 報告書概要

### ●対象期間

本報告書は、原則として2007年度(2007年4月～2008年3月)の日本ユニシスグループのCSR活動について記載していますが、過年度の活動や2008年度以降の状況についても必要に応じて掲載しています。

### ●対象範囲

日本ユニシスと日本ユニシスグループ[ケンブリッジ・テクノロジー・パートナーズ、ユニアデックス、ネットマークス、ネットマークスサポートアンドサービス、エス・アンド・アイ、USOLホールディングス(USOL北海道、USOL東北、USOL東京、USOL中部、USOL関西、USOL中国、USOL九州)、USOLベトナムコーポレーション、日本ユニシス・エクセリションズ、国際システム、G&Uシステムサービス、日本ユニシス・サプライ、エイタス、トレードビジョン、ユーエックスビジネス、日本ユニシス・ビジネス、日本ユニシス・ラーニング、日本ユニシス・アカウンティング、NULシステムサービス・コーポレーション]を対象として記載しています。ただし、対象企業すべての情報を網羅しているわけではなく、各社の主要な活動を中心に掲載しています。

### ●対象読者

お客さま、株主・投資家、社員をはじめ、取引先、NPO(非営利組織)、教育機関など、日本ユニシスグループの幅広いステークホルダーの方々を想定しています。

### ●次回発行予定年月

次回の発行は2009年7月を予定しています。

報告書に関するお問い合わせ先

日本ユニシス株式会社 CSR推進部  
〒135-8560 東京都江東区豊洲1-1-1  
TEL 03-5546-5757 FAX 03-5546-7834

 <http://www.unisys.co.jp/csr/>  
「CSRお問合せ」をご利用ください。